

令和5年度 事業報告書

1 事業の概況

労働力人口の減少が著しく、人手不足により高年齢者の労働力が強く求められる中、高年齢者の長年培った知識・経験を活かしたシルバー事業は、地域を支える貴重な働き手として高い評価を受けるとともに、大きな役割を果たしております。

令和5年度は、引き続き「財政基盤の強化」、「就業機会の拡大」及び「会員の拡大」を最重要課題と捉え、積極的に取り組みました。

「財政基盤の強化」と「就業機会の拡大」については、新たに国の税制改正に伴う税負担が生じたものの、厳しい財政状況下、市及び国から補助金等の支援を受けたほか、役職員による会社企業訪問や大型店舗前での啓発活動などの就業開拓に努めました。

受託事業における受注額では、塗装や草刈り業務で減少したものの、表具・表装業務の再開、除草や施設管理業務が増加したことで、前年度を上回る結果となりました。

地域におけるシルバー会員への信頼は大きく、多様な分野で業務を提供することができました。

「会員の拡大」については、市広報誌及び会報「ゆずり葉」を活用した広報活動、毎月の定例会説明会などのほか、様々な機会を捉えて新規会員の拡大を積極的に進めてまいりましたが、秋田県シルバー人材センター会員拡大計画の目標数値を下回る結果となりました。

市をはじめ関係機関のご指導ご支援と、地域社会の皆様のご理解ご協力をいただきながら、事業推進ができたことに、深く感謝いたします。

2 事業実施計画の状況

(1) 事業の目標（目標値と実績の比較）

①新規入会者数	（目標値）	50 人	（実績値）	27 人
②就業率	（目標値）	85 %	（実績値）	82.5 %
③就業延日人員	（目標値）	26,000 人日	（実績値）	24,496 人日
④安全就業	（目標値）	0 件	（実績値）	7 件
⑤受託件数	（目標値）	2,000 件	（実績値）	1,695 件

(2) 就業機会の拡大と会員の拡大

「就業機会の拡大」と「会員の拡大」については、会員一人一人による「1紹介1開拓」を積極的に推進するとともに、地域に密着した就業の確保にも努めました。

就業機会の拡大では、特に高齢者の生活支援事業の拡充を図りつつ、事業を円滑に行うため、関係機関との連携強化に努めました。

会員の拡大では、新入会員の加入促進として、会報「ゆずり葉」、ホームページや市広報誌に入会説明会の開催記事を掲載し、入会説明会を毎月定例で開催したほか、ハローワーク男鹿の再就職支援セミナーでの入会説明、入会希望者の都合に合わせ、随時対応しました。

また、女性会員拡大の取組みとして、女性部会を設置しました。

未就業会員については、就業情報の発行のほか、個別に希望就業職種等についての意見交換を行い、次年度の会員継続に努めました。

(3) 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の推進

派遣事業については、公益社団法人秋田県シルバー人材センター連合会と連携を図りながら、男鹿市並びに市内企業へ派遣事業の説明を行い就業機会の確保に努めました。

(4) 安全・適正就業の徹底

「安全就業は全てに優先する」を基本理念に、就業前の安全講習会の開催とともに、作業別安全パトロールを実施し、作業現場の点検と安全指導等の強化に努めました。

さらに、適正就業対策を徹底するため、県連合会主催の安全衛生研修などへの役職員の出席を通して、受託業務の契約内容及び就業形態について、自主点検票などを活用し法令遵守の徹底を図りました。

また、就業前の現場調査、点検の徹底に努めたほか、「安全だより」を2回発行し注意の喚起と周知に努めましたが、7件の損害賠償事故が発生しております。

(5) 財政基盤の確立と普及啓発事業の推進

組織の充実や経常的経費の抑制、事務の効率化を図りながら、持続的な財政基盤の確立に努めました。

普及啓発事業については、役職員による大型店舗前5ヶ所でのPR用チラシ等の配布などの啓発活動を実施したほか、公益社団法人としての社会的意義や活動状況を広く紹介するため、会報“ゆずり葉”を年2回全戸配布して、シルバー事業の普及啓発活動を行いました。

(6) 顧客満足度の向上と地域貢献活動の推進

顧客満足度の向上を図るため、各職域班の講習を実施しました。

地域の美化活動では、10月のシルバー人材センター事業普及啓発月間に「シルバーの日」として、鶉ノ崎及び戸賀湾で海岸清掃を実施しました。

(7) 職業紹介事業の推進と高齢者活躍人材確保育成事業の受講奨励

請負や委任になじまない業務について、臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事を希望する高齢者のために、職業を紹介し雇用機会の提供に努めました。

また、高年齢求職者の雇用や就業機会を支援するため、公益社団法人秋田県シルバー人材センター連合会が主催する高齢者活躍人材確保育成事業の受講奨励に努めました。

(8) 指定管理者制度による適切な施設の管理運営

① サンワーク男鹿・男鹿市トレーニングセンター

市民に教養・文化・研修・スポーツ等の活動機会を提供し、利用者本位の安全に配慮した管理運営に努め、無料開放日の開設、スポーツ大会の開催、スポーツや文化サークル活動の奨励など、サンワーク男鹿を活用した魅力ある事業を推進し、利用者の増加に努めました。

利用実績は、21,409人でした。

そのほか、サンワーク男鹿に併設するトレーニングセンターを利用した健康増進などのため、広報活動を積極的に推進し、通年を通じた活用の促進と利用器具の安全・適正な管理に努めました。

利用実績は、518人でした。

② 男鹿市斎場

故人の尊厳とご遺族の心に寄り添った管理運営に努めるとともに、老朽化に伴う大規模改修工事期間中の安全対策等に努めました。

③ 男鹿市シルバーワークプラザ

シルバー人材センター事業遂行のため、庭木剪定や草刈りなどの就業前安全講習会、各種委員会、地域班長会議、入会説明会を開催したほか、効果的な管理運営に努めました。

利用実績は475人でした。

(9) 事業を発展・拡充するため研修等への積極的参加

地域社会のニーズの変化や制度改革等に的確に対応できる情報提供と知識・企画力の向上を図るため、役員及び職員による研修会等への積極的な参加に努めました。